

まるもりまち こうや

丸森町耕野地区

「耕野でころ柿づくりの“おでって”してみねがい？」を実施しました

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲・丸森町筆甫・丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として活動地域を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。



仙台市

丸森町耕野地区

11月18(土)・19(日)・25(土)・26日(日)の4日間、丸森町耕野地区で「ころ柿(干し柿)」づくりのお手伝いをする援農ボランティアが行われ、4日間で計98名の方にご参加いただきました。

まずは受入れ農家さんを紹介。ここから各農家へ別れて作業開始です。



急斜面での収穫作業、柿の枝きり、皮むき等・・・農家ごとに様々な行程をお手伝い！





昼食は、それぞれの農家さんで手料理や特産品がふるまわれました。参加者の皆さんは、交流を深めながら堪能していました。



皮むきまで終えた柿は、ひもを通しこうしてきれいに干されていきます。



作業の後は、全員で記念撮影！



各農家さんからは、「ころ柿づくりは、11月中旬の2週間が勝負。短い期間で多くの人手が必要になるので、援農ボランティアはとても助かっている」という声をたくさんいただきました。

また、参加者からは、「参加が毎年の楽しみ」「普段はできない作業ができる」等、援農を楽しむ声が多く聞こえました。

この活動を機に、丸森町耕野地区の自然や、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。

この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っており、宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。



参加していただいた皆様、ありがとうございました。

宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部